

講義年月日	2003年12月10日 (水)
講演者	鷹尾 道代氏 (成城大学図書館)
テーマ	海外派遣研修の報告と今後の課題
講義内容	<p><b>1. 研修概要</b></p> <p>(1) 派遣元 私立大学図書館協会国際図書館協力委員会</p> <p>(2) 派遣の目的： 国際図書館協力委員会の事業の一つである国際的な人的交流を実現するため アメリカ図書館員の専門職制を学ぶため</p> <p>(3) 研修場所 :イリノイ大学モーテンソンセンター</p> <p>(4) 研修内容 :モーテンソンセンター・アソシエイツプログラム</p> <p>(5) 研修期間 2003年9月3日～2003年10月18日 (6週間)</p> <p><b>2. 志望動機</b> 以下の2点について特に学びたいと選考面接で述べた。</p> <p>(1) 図書館員の専門性とは何か</p> <p>(2) 中規模図書館員の専門性の身につけ方、組織の在り方(人員配置、予算)</p> <p><b>3. アメリカで学んだこと</b></p> <p>(1) 国際交流</p> <p>(2) アメリカ図書館員の専門職制</p> <p>図書館員の専門性とは</p> <p>a. 情報を見つけやすい環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題別のきめ細やかな電子サービス (中規模図書館)</li> <li>・New technologyの授業(情報サービスとは、ウェブ上の図書館、ウェブデザイン)</li> <li>・自立を求める利用者、ウェブの改訂、クラスでのプレゼンテーション</li> <li>・情報を見つけやすい環境を作ること、情報を使うことは同じではない</li> </ul> <p>b. 高い主題知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング、電子か紙かの選択、予算調整、最適な選書、政府資料の特殊性</li> </ul> <p>c. 図書館情報学大学院について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館情報学の大学院では何が学べるのか</li> <li>・電子図書館、これからの図書館情報学が向かうところ</li> </ul> <p>専門職のいる図書館組織</p> <p>a. 中規模図書館 - Illinois Wesleyan University</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織図 - どの職種に専門職が必要なのか</li> <li>・5人の図書館員へのインタビュー - 新しい時代のニーズを組織全体で満たす</li> </ul> <p>b. 大規模図書館 - University of Illinois</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織図 - リーダーシップの在り方によって組織はかたちをかえる</li> <li>・図書館経営者の役割</li> <li>・図書館長、3人の次席図書館長 (予算 選書、サービス、情報科学の計画と政策)</li> <li>・電子情報サービスのディレクター</li> </ul> <p><b>4. 帰国後の課題</b></p> <p>(1) アメリカの専門職制を今後どのように活かすか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性をどのように身につければよいか</li> <li>・中規模図書館にできることは何か～専門性を深めるには、リーダーシップのあり方</li> <li>・電子資料、学部とのコミュニケーション、図書館サービスの質</li> </ul> <p>(2) 未消化の分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム・協会の役割、資金調達の戦略、資料保存、障害者へのサービス</li> <li>・公共図書館の役割、学校図書館の役割 - インターネットの使い方、図書館経営 等</li> </ul>
感想	図書館員が専門職であるためには、情報検索 情報提供に関する能力を持つこと、主題知識を持つこと の2点が必要である。この2点を身につけるため、図書館員は日々、学び続けることが大切だと思った。
配付物	「海外派遣研修の報告と今後の課題」